

学習ツール送付の趣旨

介護保険関係施設

利用者が脳卒中(疑)を発症した場合の対応

H25年～H27年渡島保健所脳卒中急性期医療実態調査、H27年度介護保険関係施設における脳卒中発症時対応状況調査結果から

<課題>

- ・発症から救急要請までに時間がかかる

<要因>

- ・**職員の知識不足**
- ・人員体制
- ・急変時マニュアルの遵守
- ・その他

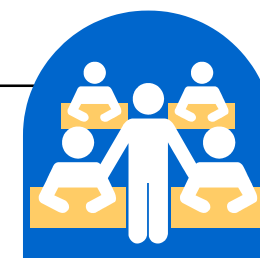
<対策>

- ・外部研修(12%)
- ・自己学習(14%)
- ・特になし(41%)
- ・その他(7%)
- ・**施設内研修(26%)**

(理由)

- ・時間が無い
- ・教えられる人がいない

提供



内部研修

利点

職員への知識普及の手段として最も用いられており、夜勤や休日勤務もある介護関係職種にとって、シフトや業務の都合に合わせて実施しやすい。

難点

研修の構成の考案、資料の準備等、準備に手間がかかる。(時間がかかる)

渡島保健所

学習ツールを製作

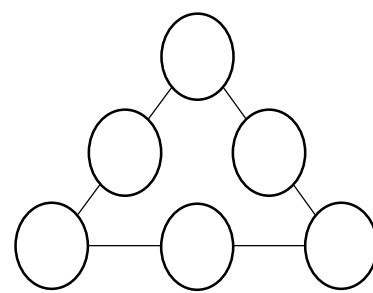
・南渡島保健医療福祉圏域連携推進会議脳卒中对策専門部会、介護保険関係施設の意見を参考に施設内で使える学習ツールを製作。

学習ツール

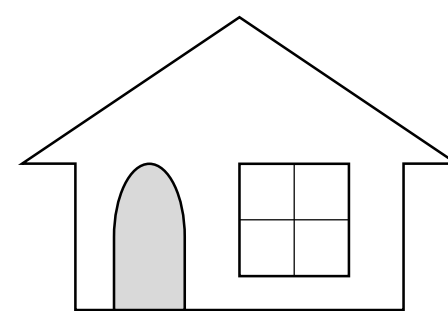
【内容】

- ・発症時の症状、対応(FAST)
- ・実施指導者向けマニュアル(進行者用資料)
- ・事例検討

脳卒中对策
専門部会



介護保険関係施設



意見